



観音寺市立伊吹小学校

学校だより 第13号

# 「伊吹イレブン」

令和2（2020）年11月20日（金）発行



観音寺市立伊吹中学校

## 今年も市内の4年生が伊吹へ！洋上学習終了

11月20日（金）の豊浜小学校で、今年の洋上学習が終了しました。今年は新型コロナウイルス感染予防で毎年実施していた6月～7月に実施できなかったため、10月からの開催となりました。期間中に、市内9校の小学4年生488人が伊吹島に訪れ、船から眺める燧灘の様子や伊吹島の風土に触れることができました。

洋上学習では、多くの方にお世話になりました。「NEWIBUKI II」の乗り込みでは、船長さんや乗組員の方々をはじめ、伊吹支所、伊吹丸事務所の方々にお世話になりました。また、昼食会場では伊吹漁協の方に、工場見学では山文さんにお世話になりました。また、島の案内をしていただくボランティアガイドでは、篠原幸喜さん、伊瀬啓さん、三好兼光さんに、事前打ち合わせから当日の案内と大変お世話になりました。ありがとうございました。

そして、今年の洋上学習では、**観音寺小学校、栗井小学校の3校が伊吹小学校に来校して**

交流学习を行いました。



交流学习では、最初に体育館でお互いの学校紹介を行い、伊吹小の子どもたちは「宝物」の合奏をして歓迎しました。また、伊吹のことをもっと知ってもらうために、中学年が「いりこ漁の昔と今について」、高学年が「アサギマダラについて」のプレゼンを行いました。その後、みんなでドッジボールや〇×ゲームを行い、楽しい時間を過ごしました。

ゲームの後は、校庭に来ているアサギマダラの観察をしました。伊吹小の篠原先生がアサギマダラの雄と雌の見分け方や、マーキングの仕方などについて話をし、訪れた小学生は熱心に聞いていました。アサギマダラを初めて見る子どもたちはとても感激した様子でした。最後に、校庭に描かれた巨大アサギマダラの周りに集まって記念撮影をしました。

伊吹小学校の7人にとっては、大勢の子どもたちと共に学べる貴重な体験となり、別れ際に握手をしたり、手を振ったりして、別れを惜しんでいた姿が印象的でした。

洋上学習は今年で44回を数えます。これからも伊吹島を訪れた子どもたちが、伊吹島を好きになり、郷土観音寺を大切に思ってくれることを願っています。（文責：白井 基）